

学思行



科学研究部

1 「チーム中等で挑んだ兔原祭」 ★★★★★

生徒・PTA・教員を合わせて1,000名を超えるチーム中等で兔原祭に取り組みました。

長期間の綿密な計画と準備のお陰で、全体的にスマートな進行で、星5つの質の高い発表・企画だと感じました。食販もグルメな来場者を満足させる味わいでした。大きなトラブルはなかったのですが、準備から片付けまでに大小の失敗が多数ありました。

失敗をしたときに必要なことが二つあります。一つ目は、同じ失敗を繰り返さないように失敗から学ぶことです。2年続けて同じ生徒が同じ役割をすることはないので、失敗の過程・要因と対策を漏らさず文章にして次年度に引き継ぐことです。二つ目は、失敗した仲間を責めずに、チーム中等として支えることです。失敗した社員に責任を負わせる会社は伸びず、失敗した社員に再チャレンジさせる会社はエンパワーメントされて飛躍します。

中等はすでにエンパワーメントされたチームですが、満足は停滞や退化につながります。新しい何かを創造する歩みを止めず、誰もがチャレンジできるチームづくりを目指して下さい。

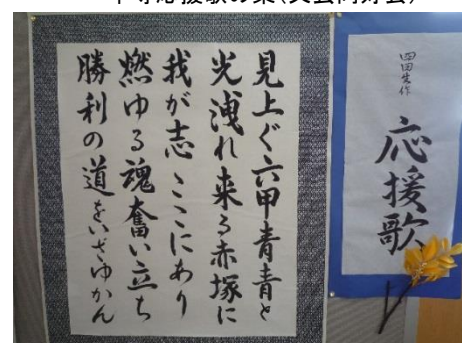


2 「これからの兔原祭を学思」

今年の兔原祭では様々なリスクを回避・縮小させるために、運営方法やプログラムが見直されました。見直しによる変更・中止には様々な意見が実行委員に寄せられましたが、変更・中止を再検証して誠意を持って回答して理解を求めました。実行委員の苦労は大変だったと思いますが、このようなプロセスこそが自治の姿ではないでしょうか。本当にお疲れ様でした。

29年度兔原祭の準備はすぐに始まります。これまでの兔原祭では生徒が自主的に取り組む姿を披露することで「自治」を伝えてきました。次の兔原祭は「自治+（プラス）」を目指しませんか。例えば…社会を痛烈に風刺するシナリオで、来場者とともに今や未来を考える演劇。コースをクリアすることで防災スキルが高まる脱出ゲーム。手渡されたiPadに現れるVR（仮想現実）でリアルな恐怖を味わうお化け屋敷。今から構想・準備すれば不可能ではないでしょう。

中等応援歌の案(文芸同好会)



3 連絡

本日より春学期終業の10月13日（木）まで冬服への制服移行期間とします。移行期間の服装パターンは「学校生活のためのハンドブック」に掲載しています。冬服への更衣は秋学期始業の10月17日（月）からです。身なりと心構えを正して、心身を充実させる秋学期をスタートさせましょう。